



初めの1ヶ月で目にしたもの

〈大学間協定留学（交換型）〉

マラヤ大学（マレーシア）

明治大学国際日本学部国際日本学科2年

大瀧芽衣

私は現在マレーシアの首都クアラルンプールにあるマラヤ大学に留学しています。以前から東南アジアや国際協力、開発の分野に関心があり、専門的に学びたいと考えていました。マレーシアは2020年に先進国入りすることを目標として掲げて成長を続ける国であり、発展した部分と発展途上の部分の二つの側面を見ながら学べる環境は自身に最適だと思い、留学先としてマレーシアを選びました。現在は主にASEANや東南アジアの政治について勉強しています。

私が暮らすクアラルンプールは電車やバスなどの公共交通機関が発展しています。マラヤ大学はクアラルンプールの端に位置していますが、電車で簡単に中心部に行くことができます。中心部には銀行などの高層ビルが林立しており、観光地として有名なペトロナス・ツインタワーの大きさはふもとから見上げると圧巻です。ショッピングモールにはスーパーマーケットから高級ブランドショップまで様々なお店が軒を連ねています。



ペトロナス・ツインタワー

私がマレーシアに来て驚いたことの一つに、ショッピングモールで見かける日本のブランドの多さがあります。大学からバスを乗り継いで15分ほどのところにあるMid-Valley Megamallは東南アジア最大級の規模を誇りますが、ここにはスーパーマーケットのイオンをはじめ、100円ショップや牛丼のチェーン店など生活用品から飲食店まで、様々なジャンルの日系企業が進出しています。日本製品はやや割高ではありますが、馴染みのある商品が手に入り日本人にとって暮らしやすい街だと感じました。

マレーシアは多民族国家でありマレー系、中国系、インド系の大きく3つに分けられますが、大学のキャンパスや街中では様々な人種の方を見かけます。また民族によって信仰する宗教も異なっており、街にはイスラム教のモスクやヒンドゥー教の寺院、キリスト教の教会など、まさに文化や宗教が混在しています。そのため食事の種類も豊富で、安く美味しい料理が食べられます。

様々な民族や文化が共存しながら発展を続けるマレーシアですが、発展途上の部分も多く目にします。例えば一見舗装されている歩道でも所々アスファルトが崩れている部分があったり、ビルの建設現場の真横にトタン屋根の平屋の家が密集した地域があったりします。その一方でプールがついているような大きな家があったりして生活水準の差を感じました。また私が生活している



マラヤ大学

大学内の寮では 9 月に断水のお知らせが回ってきました。実際には起こりませんでした。約 40 時間断水すると予告されていたのでとても驚きました。トイレの水が流れない、シャワーや水道水が出ない、突然茶色い水が出るといったトラブルもありました。日本で当たり前のように暮らしてきた環境に感謝するとともに、改善していくべき課題は身近なところに散在していると感じています。

マレーシアに来て、文化をはじめとして様々なものを目にするたびにさらに深く知りたいと関心がわいてきます。マレーシアが抱える問題にどのように向き合っていくべきか、自身の将来と重ねながら関心や考えを深める留学にしたいと思います。

MEIJI UNIVERSITY

*協定留学等、明治大学の留学制度について詳しくは[こちら](#)をクリック